



市章

直ちに  
募集停止に  
なる訳では  
ない

真庭市議会広報

第77号

令和6年[2024年]  
8月1日発行

このままだと日本の  
農山村から高校  
が消える。地域がど  
うあるべきか一緒に  
考えよう

# まにわ

## 真庭高校が再編対象校に

(岡山県教育委員会発表)

今後アクションプランの  
策定を進める



真庭高校



勝山高校蒜山校地



勝山高校

(令和4~6年度)

3か年の1年生の人数

真庭高校 84→84→74

勝山高校 109→114→107

勝山高校蒜山校地 29→30→18

県立高校の在り方  
を考える会を発足  
しました。今後は県議会など  
との意見交換も検討します。

県内25市町村の首長が、真  
庭市長の呼びかけで県立高校  
の在り方を考える会を発足  
しました。今後は県議会など  
との意見交換も検討します。

# 41

真庭の中学生が市内の高校  
へ進学する率が41.6%です

庁舎内に人口減少対策本部  
を立ち上げました。これは、人口  
戦略会議が消滅可能性自治体  
としたことを受けたものです。

人口減少対策本  
部を設置

決しました。

今年から教育委員会に教  
育魅力化推進担当課長を配  
置しました。6月補正予算で  
市内高校広報支援及び勝山  
高校教科学習支援強化のた  
め3,941千円を計上、可  
決しました。

教育魅力化推進  
担当課長を配置



6

令和6年6月第2回真庭市議会

M ANIWA  
G IKAI

月定例会

会期6月3日~6月19日

6月議会の会議録は9月上旬、ホームページ  
及び議会事務局で閲覧できます

【主な内容】

今回の一般質問は14人

- 補正予算1件を可決
- 議案10件を可決
- 専決処分2件を承認
- 発議2件を可決
- 請願1件を継続審査

令和6年度6月補正予算

6億8,596万3千円を可決しました  
一般会計補正後 353億396万円

	6月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	6億8,596万円	353億 396万円	1.0%増
特別会計	-	124億9,063万円	-
公営企業会計	-	78億1,959万円	-

令和6年度6月補正予算会計別集計表

単位:万円

会計名	6月補正額	6月補正後予算額
一般会計	68,596	3,530,396
国民健康保険特別会計	0	492,868
後期高齢者医療特別会計	0	93,943
介護保険特別会計	0	638,272
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	0	5,447
浄化槽事業特別会計	0	4,212
津黒高原観光事業特別会計	0	2,835
クリエイト菅谷事業特別会計	0	764
温泉事業特別会計	0	10,722
特別会計合計	0	1,249,063
水道事業会計	0	224,706
下水道事業会計	0	375,498
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	0	181,755
公営企業会計合計	0	781,959
合計	68,596	5,561,418

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります

一般会計 主な歳出

定額減税、低所得者等への給付  
6億8,593万円増額

物価高により厳しい状況にある市民の負担を緩和するための定額減税、低所得者等への給付金、公共施設の除却事業等を増額しています。  
▼総務費では、定額減税しきれないと見込まれる市民への給付金として定額減税補足給付金事業に4億787万1千円を計上、集落ネットワーク圏におけるスマートストアによる課題解決を目指す地域づくり推進事業に2,906万円を計上。▼民生費では、物価高により厳しい状況になる低所得者世帯を支援する低所得世帯物価高騰緊急支援給付金事業1億3,810万円を計上。▼衛生費では、がん患者を対象にウィッグ等の購入を補助する各種がん検診事業45万円を計上。▼教育費では、北町公園内の久世体育館等の除却設計を行うスポーツ施設改修等事業に1,613万7千円を計上、市内高等学校の支援を強化する教育魅力化推進事業に394万1千円を計上しています。

# 市民のあし・くらしを守る車の更新

## 【まにわくん購入】

更新される車両は、蒜山・久世ルートの中型バス定員56人です。契約方法は、条件付一般競争入札、契約金額は、27,775千円。契約の相手方は、蒜山運送(株)です。



蒜山久世ルートのマにわくん

## 【除雪トラック購入】

更新される車両は、蒜山振興局の除雪トラック(7t級)です。契約方法は、一般競争入札、契約金額は、38,830千円。契約の相手方は、東真産業(株)です。



久世方面隊第4分団第1部の消防車

【消防ポンプ車購入】  
更新される車両は、久世方面隊第4分団第1部の車両です。契約方法は、指名競争入札、契約金額は、21,450千円。契約の相手方は、(株)吉谷機械製作所(鳥取市)です。



蒜山で使用していた除雪車

## 美甘地域の公共施設の統廃合

美甘コミュニティセンター(美甘公民館)は、生涯学習施設として住民が地域コミュニティの形成に参加し、生活文化の向上及び社会福祉・社会教育の増進に寄与することを目的として建設した施設。

同様の機能を備えた美甘振興局庁舎を利用する団体が増えたことや、老朽化により安全で快適な利用が難しくなったことから、機能移転、用途廃止するものです。

美甘シルバーセンタ―は、身体的状況等から家庭に引きこもりがちの高齢者に対し、地域ぐるみで高齢者を中心に支え合い助け合う明るい地域社会づくりを進めるため整備



美甘コミュニティセンター 美甘

した施設。ここ数年は、利用がなく、今後も活用が見込めず建物の老朽化等を踏まえ用途廃止するものです。



美甘シルバーセンター 美甘

福寿荘は、高齢者等が健康やかで明るく助け合い、相互に健康保持、生きがいの増進を図るため、整備された施設。ここ数年は、利用がなく、今後も活用が見込めないで用途廃止するものです。



福寿荘 美甘

## 発議

### 真庭市議会委員会条例の一部改正

標準市議会委員会条例の一部改正を踏まえ、議会のデジタル化に関する規定を整備するため、条例の所要の改正を行うもの。

### 真庭市議会会議規則の一部改正

標準市議会会議規則の一部改正を踏まえ、議会のデジタル化に関する規定を整備し、及び運用上支障となり得る条文を整理する等のため、規則の所要の改正を行うもの。いずれも全会一致で可決されました。

専決処分とは、議会が議決または決定すべきことについて、議会を招集する時間がないときや、あらかじめ議会の議決により指定したものの議決について、市長が議会に代わって意思決定することです。

発議とは、議会の会議において、議員または委員会が、議事の対象となるべき問題を議長に提出することです。



# 総務常任委員会

本委員会は、3月13日、5月15日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

## 《総合政策課》

### ■第3次真庭市総合計画の策定

総合政策課から「第3次真庭市総合計画の策定」について、説明がありました。今回の策定に当たって、骨格の基本フレームは、これまでのものを維持していきます。

策定の視点としては、加速する人口減少への対応、特に若年人口の減少をいかに抑制するか、人口が減少していく中でも幸せを享受できる社会づくりや、市内高校と地域のつながりや、まちづくりといった視点で議論を深めていきます。計画の期間は、社会動向が目まぐるしいことなどを踏まえながら、第3次計画では、5年間の計画として、策定を進めていきます。一方で、基本目標の設定時期は変えず、これまでの検証などを行いながら、引き続き2040年の姿を見据えての計画策定を行っていきます。



総合計画推進本部会議(R6.5.8)

## 問

この人口ビジョンについて、真庭市の目指すべき将来人口の在り方を実現するために、転入促進、転入拡充、子育て世代の転入拡大など、多くの課題があるが、これができる体制はあるのか。

## 答

これまでの第2次計画の中で、この目標を掲げながら進めてきたが、実際に成果として十分とは言えないと思っており、これから、どういった目標を持ち、こういった取組ができるか、実現するためにどういう体制をとるかという事について、改めて検討が必要だと思っている。

## 《総務課》

### ■真庭市職員の募集

総務課から「真庭市職員の募集」について説明がありました。

真庭市職員の採用については、例年、前期と後期に分けて募集を行ってきましたが、今年度から新たに、高校生枠を設け、若手をターゲットとした人材獲得にも取り組みます。

専門職の筆記試験のうち、教養試験を廃止し、受験者の負担軽減と、応募者の獲得を図ります。前期試験の受験者募集の申込み受付期間は5月20日から6月14日までとし、1次試験日は7月14日の予定です。また、後期試験、高校生枠の申込受付は、7月下旬から8月下旬を予定しています。人材獲得に向けて、引き続き積極的に広報、呼びかけをしていきたいと考えています、との説明がありました。

## 問

高校生枠を、設ける目的は。

## 答

現在、職員の年齢構成が40代、50代に偏っており、できるだけ若手を獲得していきたいという思いが

委員長	加藤 大悟	委員	小田 康文
副委員長	西田 文子	委員	庄司 史郎
委員	岩本 壮八	委員	長尾 修
委員	緒形 尚	委員	中尾 哲雄



令和6年度新採用職員 本庁舎

## 問

採用した後の育成計画等についてはどのように考えているのか。

## 答

具体的にはこれからだが、若手人材育成研修事業として、行政マンとしての基礎のスキルを身につけていくための研修を積極的に実施している。

# 文教厚生常任委員会

本委員会は、3月12日、5月16日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

## 《湯原温泉病院》

### ■令和6年度からの外来診療

湯原温泉病院から、令和6年度からの外来診療について説明がありました。

令和6年4月より、常勤医師の減少と、職員の働き方改革に伴い、診療体制の見直しを行いました。毎週土曜日午前を通常診療していましたが、数年前から院内で土曜日の診療のあり方を検討し、4月から第2・第4土曜日の診療に変更します。また、中和診療所は月曜日のみの診療とし、美甘診療所は診療時間を一部変更し、訪問診療に出かける時間を増やしていくとのこと。

**問** 医師の減少、働き方改革が始まる中で、示された経営強化プランが実行できるのか。

**答** 常勤医師は少なくなるが、常勤医師が会計年度職員に、ま



診療体制の見直し 湯原温泉病院

た岡山大学病院医師が非常勤に決まっている。岡山医療センターより第1から第5土曜日まで宿直で医師の配置がある。

**問** 土曜日の外来診療が第1と第3を休診となるが、判断した理由は。

**答** 土曜日の受診者も10名程度であり、院内で検討してきた。休診にはなるが、診療体制等の内容に変更はない。救急も受けていく。

## 《生活環境部》

### ■生ごみ等資源化プロジェクトの

本格稼働に向けたスケジュール  
環境課から、生ごみ等資源化プロジェクトの本格稼働に向けたスケジュールについて説明がありました。

生ごみ等資源化施設については7月末、バイオ液肥濃縮施設については8月末に竣工する見込みです。竣工後の9月から生ごみ・尿・浄化槽汚泥を段階的に量を増やしながら新たなプラントに投入していきます。既に生ごみの収集を行っている久世地域と落合地域の一部の生ごみを9月から新しいプラントに投入し、落合地区では9月半ばから、北房では10月からといった具合に、半月ごとに徐々にエリアを拡大します。令和7年1月には、生ごみ、し尿、浄化槽汚泥の全量を新たなプラントで液肥化して濃縮を行う、本格稼働していきたいと説明がありました。



家庭からの生ごみを回収する回収バケツ 環境課提供

委員長	妹島 弘和	委員	氏平 篤正
副委員長	黒川 愛	委員	大月 説子
委員	浅野 和昭	委員	古南 源二
委員	伊賀 基之	委員	福島 一則

**問** 施設見学の受入について、市民の見学を優先して足を運んでもらうツアー企画はできないか。

**答** 優先的に、市民に見てもらえる日程を設定し、取り組みを広げていく。

**問** 自治会長以外での説明会開催要望の実績はどれくらいあったのか。

**答** 直近で出張説明会を約60回開催した。市民サポーターとしてJA女性部、商工会女性部、リサイクルプラザまにわの会にイベント等に参加してもらい取り組みを強化していく。



# 産業建設常任委員会

委員長 柴田 正志 委員 妹尾 智之  
副委員長 森脇 正和 委員 森田 敏久  
委員 伊藤 義則 委員 吉原 啓介  
委員 入澤 廣成

本委員会は、3月14日、4月17日、5月17日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

## 《産業観光部》

### ■Jークレジットを活用した再造林の推進等に関する協定

林業・バイオマス産業課から、Jークレジットを活用した再造林の推進等に関する協定について、説明がありました。5月2日に三菱UFJ信託銀行と協定締結式を行いました。再造林面積が低位に推移する中、Jークレジット等新たな収益事業を活用して再造林を進めることを可能とする財務モデルや仕組みを実証していきます。協定期間は令和9年度までの4年間です。

**問** 信託銀行が造林未栽地の選定、購入することか。その後はどのような対応になるのか。

**答** 市が山林の情報を業者から収集し、信託銀行に提供し、候補地を選定。その後購入し、植栽等を進める。地域の関連団体と連携しながら進めていく。



三菱UFJ信託銀行との協定締結式 本庁舎

**問** 画期的な取組であり、市からも情報発信してほしい。山林管理は長期間の事業であり、協定期間は4年間だが、その後の戦略はあるのか。

**答** 金融機関によるこの取組は先進的なものと考えている。4年間の実証事業であるが様々な課題が出てくると思われるので、しっかり連携してまいりたい。銀行では、全国展開を視野に入れて行きたいとしている。

### ■令和6年度主要事業・新規事業

今年度設置された地域エネルギー政策課から、令和6年度主要事業・新規事業について説明がありました。

令和6年度は、蒜山中学校ほか4つの公共施設でPPA方式による太陽光発電設備を設置する予定です。ゼロカーボンシティまにわ推進補助事業は新規事業で、市民向けに太陽光発電設備、高効率給湯器、次世代自動車の購入支援を行います。

また、小水力発電事業は今年度から本格的な現地調査、検討を市内数カ所で行う予定にしています。さらに、脱炭素市民会議を今年度も引き続き開催する予定としており、今年度は特に普及啓発について市民と一緒に考えていきます。

**問** 小水力発電事業では、専門的知見を



北房文化センターの太陽光発電施設 下砦部

有する事業者と一緒に行うとのことだが、具体的にどのようなことを委託するのか。

**答** 日本各地で小水力発電事業を展開している(株)森とみずのちから、岡山県内での小水力発電事業を始めている両備グループと真庭市の3者で小水力発電事業に関する連携協定を締結し、推進していこうと考えている。地元と連携しながら進めていきたい。

# 一般質問

6月定例会の議事録は  
9月上旬から閲覧できます  
二次元バーコードをスマホ等で読み取ると、  
一般質問が視聴できます。  
一般質問の記事は、個人質問は800字以内で、  
質問した議員本人がまとめています。

妹島 弘和



地震に備えて

南海トラフの巨大地震、鳥取地方を震源とする断層型地震などが起きれば、市内にも相当の被害が予想されるが、地震による人的、経済的被害を軽減することは可能であり、災害に強いまちづくりを進めていくことは重要である。

市は建築物の耐震診断・改修等の補助制度を設けているが、全体改修工事費の補助限度額は真庭市では50万円、

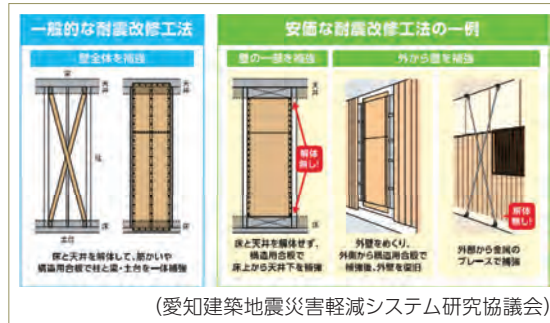


太田昇市長



三ツ宗宏教育長

県内15市の中で下から2番目の金額である。また、部分改修の限度額は20万円、この制



安価な耐震工法の一例

度を設けている9市の中では真庭市が最下位である。

①耐震改修に係る市の補助限度額の増額を行う考えはないか。また、地震時にブロック塀等の倒壊による被害や通行の妨げを防ぐためにも、民間所有の既存ブロック塀等の撤去工事に係る費用の補助制度を創設する考えはないか、市長の見解を問う。  
②耐震改修と、手すりや段

差解消のための住宅改修費支給制度の併用は可能か。

答 太田市長

①真庭における南海トラフ巨大地震の想定震度は5強、断層型地震の想定震度は最大で6強ということになっている。この耐震の重要性は私も認識しており、現在真庭市の住生活基本計画を立ち上げ、総合的な住環境の在り方を検討している。それを前提に耐震改修補助金も引き上げるべく検討をしよう。県内で最下位、低位だということは認識しており、積極的な対応をしていく。

真庭市も公共施設の危険なブロック塀は全て撤去している。民間の撤去費用を補助している自治体が県内で7市町あり、積極的に対応していく。

答 川端まちづくり推進監

②活用可能だ。詳細は担当部局に相談していただきたい。

## 政務活動費を公表 執行率50%

政務活動費は、地方自治法に基づき「真庭市議会政務活動費交付条例」で定められた議員の調査研究、その他の活動に費やすため必要な経費として交付されます。月額3万円を年度当初に

一括交付し、残余がある場合は返還することになっています。真庭市議会では、1円以上のすべての領収書の提出を求めている、精算内容を議会ホームページに公開しています。



政務活動費のページ

### 令和5年度政務活動費交付状況一覧(令和5年4月から令和6年3月分)(五十音順)

(円)

議員氏名	交付額	精算額	返還額	議員氏名	交付額	精算額	返還額
浅野 和昭	360,000	360,000	0	柴田 正志	360,000	206,558	153,442
伊賀 基之	360,000	231,041	128,959	庄司 史郎	360,000	164,056	195,944
伊藤 義則	360,000	262,074	97,926	妹島 弘和	360,000	349,817	10,183
入澤 廣成	360,000	17,820	342,180	妹尾 智之	360,000	191,780	168,220
岩本 壯八	360,000	43,817	316,183	長尾 修	360,000	17,820	342,180
氏平 篤正	360,000	169,667	190,333	中尾 哲雄	360,000	142,823	217,177
大月 説子	360,000	80,631	279,369	西田 文子	360,000	185,526	174,474
緒形 尚	360,000	180,212	179,788	福島 一則	360,000	90,437	269,563
小田 康文	360,000	121,591	238,409	森田 敏久	360,000	285,471	74,529
加藤 大悟	360,000	17,820	342,180	森脇 正和	360,000	142,546	217,454
黒川 愛	360,000	360,000	0	吉原 啓介	360,000	240,870	119,130
古南 源二	360,000	278,794	81,206	合計	8,280,000	4,141,171	4,138,829



庄司 史郎

問



## ポケットパークに あずまの設置を

勝山地区に造られたポケットパークは、現状の整備内容で完了したと捉えているのか。暑くなるこの時期に、公園に行って遊ばせようかと考えたとき、日を遮るものが全くない場所では利用が非常ににくい。日陰を作るあずまやは是非考えて頂きたい。せつかく造ったのだから、補正予算を組んでも、喜んで早く使ってもらえ



勝山地区に整備されたポケットパーク 勝山

る内容の公園に仕上げて頂きたい。

答 太田市長

初期的な整備を行って、今後も計画的にまた整備をしていく。現在の整備内容で完了というようなことは前も言っていないと思う。

答 三浦勝山振興局長

日陰の問題は、公園を作る会の代表の方と話をする上で、要望として聞いており、必要性は十分に承知している。今後、代表の方とさらに連携して、お金の問題もあるが、子どもたちが集える場にしていきたいと思っている。

問

## 原材料費及び使用料 の補正対応を

落合振興局では新年度当初の4月1日に予算を上回る市民からの申請があり、予算が無いため申請に行ったが受け付けてもらえなかった市民の方がおられた。

この事業は、市の支援と市民の自助から成り立っている事業で、申請に来られながら

受け付けてもらえなかった事業については、補正予算を組んで、市民のささやかな、且つ切実な要望に応えるべきと考えるが、見解を伺う。

答 太田市長

今の状況全体を見ながら、必要な補正はしていくという考えで初めからいる。単費でどこまでできるかというのがあるが、補助対象にできるものは補助対象にしていくとかという工夫もして、実質的により市民の皆さんの要望に応えられるようにしていく。

森脇 正和

問



## 「蒜山ひととき」の 検証評価と対応

「蒜山ひととき」がオープンして1年が経過した。整備の目的は、企業誘致の推進、関係人口と移住の推進、自然共生活動の拠点、伝統工芸の活動拠点、大学との連携のためとなっていた。事業の検証評価と今後の対応を問う。



シェアオフィス蒜山ひととき 蒜山上福田

答 太田市長

観光とか関係人口とかに役立つ知的集積の場をつくるということから始めた。利用実績は、年間契約2件、月間利用延べ55件、1日利用延べ121件である。利用促進事業で蒜山アクションシリーズを実施した。継続して蒜山で活動したい人が8名いた。利用促進を働きかけている。

問

## 高校魅力化の対応

①生徒数が一定の基準を下回ったため岡山県教育委員会が再編、統廃合の対象にすることを決めた真庭高校について、統廃合に向けたスケジュールを明らかにし

た。太田市長が結成を提唱、県内25市町村の首長有志が県立高校の在り方を考える会を設立した。この会を設立した意気込みを聞く。

②高校魅力化の一環で、勝山高校蒜山校地には、現在学生寮が建設中だが、築50年以上経過した白梅寮を建て替える考えはないか。

③今年度より教育総務課に教育魅力化推進担当課長のポストを設けたが担当課長に望むものをお聞きする。

答 太田市長

①想像以上に高校が地域における重要なもので今の状況に危機感を持っていると感じた。次は県会議員との対話をしたいと思っている。

②基本的には県が責任を持つべきだ。今後の看護学科のことも含めてやるべきであると思う。

答 三ツ教育長

③子どもたちが真庭で学んで地域の環境を生かし、大人ともつながって活動できることを進めていきたい。高校との学びを接続していく上で連携を強めていきたい。



緒形 尚



## 特別支援教育アドバイザーの設置を

行政、学校、関係機関がより組織的に機能していくために、専門的知識が高く特別支援教育を総合的にコーディネートする人材、特別支援教育アドバイザーの設置が必要だと思う。学校を巡回し、特別支援教育への理解が一層深まるよう教員をサポートしたり、特別支援教育アドバイザーによる研修



さらなる専門性向上のために研修中 本庁舎

の充実など、教員の学ぶ機会や仕組みのさらなる充実を行うことで、より深く、より広く子どもたちの状態を見ながら、きめ細かい支援をすることができると。

### 特別支援教育アドバイザー

は、一人一人の子どもを正しく見立てた上で、子どもへの支援、支援する側への支援、支援する場の選定など助言指導を行い、真庭市全体の特別支援教育の充実に努めてもらう。そのためには、より専門性の高い人材が必要になってくると思う。特別支援教育アドバイザーの設置について、教育長の所見を伺う。

## 答 三ツ教育長

教育委員会では、共生社会の実現を目指し、誰もが相互に人格、個性を尊重し合って、共に学ぶインクルーシブ教育の推進を図っている。現在、特別支援教育アドバイザーは配置をしていない。専門性の高い通級指導教室の教員や、市の発達障害支援センターの発達コーディネーターが学校の求めに応じて訪問し、教員、学校をサポートしている。

発達コーディネーターは、就

学前の支援にも関わっていて、個別の支援、あるいは集団への指導の在り方など、就学前からの連続性を高めていく上でも重要な役割を果たしている。

### 誕生寺支援学校など外部専門機関の職員による巡回相談、各学校の特別支援教育コーディネーターの教員に、専門性を高める研修を実施している。優れた専門性を有する内外の人材との連携で、インクルーシブ教育の推進に努めている。

誕生寺支援学校など外部専門機関の職員による巡回相談、各学校の特別支援教育コーディネーターの教員に、専門性を高める研修を実施している。優れた専門性を有する内外の人材との連携で、インクルーシブ教育の推進に努めている。

古南 源二



## 真庭市立の高校を持つてはどうか

令和5年の出生数は194と聞いている。15年後には高校に行くが全員市内の高校を希望しても5クラスに満たない。現状の半分程度の進学が続くと1学年1クラスの学校で充分ということになる。県の教育委員会は入学者が基準を下回れば学校を



蒜山学習交流センター 完成イメージ図

統合しようとしている。

真庭市として勝山高校蒜山校地に生徒寮と交流センターを兼ねた施設を建設支援し、また高校に塾講師派遣支援もしようとしている。県立高校の存続が危ぶまれていくと真庭市立の高校を持つても良いと考えている。教員確保、運営費の確保等難問もあるが今の市長ならできると思うがいかがか。

## 答 太田市長

100を2年連続真庭高校は割っているから、県の基準で行けば統合対象として協議す

る方針は変えない。県立といえども高校の重要性は同じ認識であるから、来年入学者が増えるようなことをするために真庭市としてできることは何でもやる。真庭高校でいえば文科省の制度も使いながら3年間取り組んだ。国庫補助金はもうなくなるが、文科省からも評価されている。勝山高校についてもきちっと出したい。緊急的に来年に入学者が増えるような対策をまず打っていく。

出生数は頑張っても今の出生数が300、400になることはなく長期的に日本全体が減少傾向にある。高校の重要性を考えて真庭市内で多様な選択ができ、将来を担う子ども達が育つような中等教育の環境の選択の一つとして提案の市立高校もあるだろう。方向性は議会の了解も得て、最後の責任は私だと思っている。市民の方にも意見を頂いて色々と意見は違っても県立以外の選択をするのであれば相当の出費が経常的にいる。お金のことで市が成り立たなくなれば駄目だが、お金のことで教育に関しては否定しない。

妹尾 智之

問



## 軟骨伝導イヤホンの導入を

他の自治体窓口には耳マークを表示して、難聴の方には筆談等で対応している自治体もある。難聴で困らない環境を整備することで認知症の予防につながるとも言われている。小さな音でも明瞭に聞こえる軟骨伝導イヤホンは、周囲に音が漏れることがなく雑音を除くなどの特徴がある。

耳の軟骨を振動させて音を伝える軟骨伝導の仕組みを使い、耳の入り口付近に軽く当てるだけで、集音器が増幅した音を軟骨伝導式のイ



小さな音でも明瞭に聞こえる軟骨伝導イヤホン

ヤホンを通して聞く仕組み。

耳が聞こえにくい高齢者との対話を円滑にするのが目的で、このイヤホンをつけるとはつきり聞こえ、大きな声で話す必要がなく、プライバシーの保護にもつながっている。

本市においても、耳が聞こえにくい高齢者や難聴者とのコミュニケーションを図るため、真庭市共生社会推進基本方針に沿った取組として、まずは市民課、福祉課、高齢者支援課窓口で軟骨伝導イヤホンを導入してはと思うが、市長の所見を伺う。

## 答 太田市長

軟骨伝導イヤホンの導入だが、市役所窓口にも選択の一つとして前向きに検討を進める。

問

## インクルーシブ公園の整備

インクルーシブ公園は、様々な考え方、定義があるが、それらを統合すると、障がいがあるお子さんでも遊べる遊具をただ置くだけでは

なく、また障がい者専用の公園でもない。障がいがあってもなくても、公園を訪れる誰もが一緒に楽しく遊べる公園だ。市内公園整備を行うに当たり、障がいをお持ちの方、また小さいお子さんをお持ちの方のご家族の意見を取り入れていく考えはないか、市長の所見を伺う。

## 答 太田市長

障がいをお持ちの方、小さいお子さん、あるいは高齢者が利用しやすい施設整備、公園も造っていく。

吉原 啓介

問



## 地域交通システムの効率的運用推進

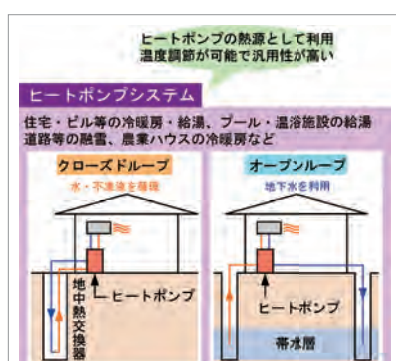
チョイソコマにわは、昨年10月から実証事業が行われ、今年度から本格稼働が開始されている。登録者数も増え、利用状況も好調であるように見受けられるが、実証期間において判明した課題事項、利用者の利便性向上・利用促進に向けた方策、

実証を通じて得られた情報により今後の地域交通システム構築・再構築推進におけるチョイソコマにわの活用方針に変更はあるか。

## 答 太田市長

運行して見えてきたのは、午前中だけ集中して取りにくい、あとは空白で空いている、エリアも広いから、非常に経路設定の効率が悪いというようなこと。その一方では運行エリアの拡大とか時間を延長してほしいとかということもある。

包括支援センターとかサロンへ行くこと等への利用の検討もしているが、そういう利用の少ない時間帯の活用、とにかくいろいろな今後とも試行錯誤をしていかなければならない。



地中熱ヒートポンプシステム(提供:特定非営利活動法人地中熱利用促進協会)

地中熱利用もひとつ検討しようとしている。初めからこれは可能性としてはほとんどないようなものはないが、可能性のあるものはとことん追求して、再生可能エネルギー利用を進める姿勢でやっていく。

## 答 太田市長

施設の空調や路面融雪等に使えるものとして地中熱の活用といったものもあるが、脱炭素にとどまらない新たなエネルギー活用を検討できないか。

## 脱炭素社会実現に向けて

いずれにしても、まにわくんの幹線があり、コミュニティバスがあり、そしてチョイソコマにわがあり、そういう体系全体を見直し・検討を行っていくということを今年度やっていく。

問



伊賀 基之

問



**新しい中核的博物館  
が必要では**

①夜間無人になる場合もある寺社などの文化財への対応は。②蒜山の戦争遺跡は、市の文化財に指定すべきと思う。③蒜山郷土博物館は、開館以来33年が経過し大幅なリニューアルが必要。北房ふるさとセンターは展示スペース不足。その他の施設も見直しが必要。④今ある博物館・資料館だけでは文化財活用は困難。総合的な新しい中核的博物館が必要ではないか。

**答 太田市長**

④現時点では中核的博物館の建設は考えていない。将来的に議論、検討を進めていけばよい。優先順位の問題。

**答 三ツ教育長**

①文化財の防火・防犯は、経費に補助金を交付している。防火は、消火栓・自動火災報知機など整備している。

②この遺跡が非常に大切なものという機運醸成が大事である。その中で文化財も検討していく。③博物館・資料館の課題は認識しており、改修すべきは改修していく。



故障している大宮踊りの装置  
蒜山上長田

問

**有害鳥獣駆除の補助金の見直しを**

①有害鳥獣で困っている農家は、中山間地で赤字覚悟で農業を続けている。資材高騰、有害鳥獣被害拡大の中、50%という補助額も含め制度の見直しが必要。またコードの巻取器や検電器などが補助対象にならない。もっと農家の実態に合わせた補助制度にすべき。②今後鹿の捕獲数が増えればジビエカーの処理能力を超える。どのようにジビエカーを

活用するのか。

**答 太田市長**

②もう一台増やせば費用の点もある。一台をフル回転させながら、どういう体制で効果的にやっていくか、さらに販売促進を行っていく。

**答 木林産業観光部長**

①広域的な防護柵が効果的でその観点から補助要件の見直しは検討していない。個別農家の相談には検討していきたいが、今すぐどうこうとは考えていない。

浅野 和昭

問



**保育士への負担軽減策**

朝、昼、夕方等の一部時間帯等には電話自動応答サービスを活用し、緊急時や相談事、祖父母等のコードモン未使用者へは通話で対応するのが良いのではないかと考える。コードモンの連絡機能でメッセージの送受信を行う事で、話の内容が園内で迅速に正確に共有できる。職員の

負担軽減にもなり、お迎え時間や予定確認をすぐ確認できる。

また、記録できる事でトラブルの防止に考えると考える。書類の回覧に現在でも押印を必要としている事には疑問がある。保育士には一人一台端末が必要であり、専用端末がないから情報を同時共有できる体制になっていない。保育士の休憩とは労働から完全に切り離されており、自由利用できる状態でなければならぬ。休憩設備について、労働者が利用する事のできる椅子を備えなければならぬとされている。

**答 太田市長**

電話自動応答だが、原則コードモンだが、電話も緊急用としては残しておく。一人一台端末の導入は、十分現場と協議していく。押印は廃止する。労働安全衛生規則の関係だが、できる限り良い環境を整備していくのは設置者の責任である。園長が衛生推進者になっており、職場環境の改善、健康管理に努めている。

問

**北町公園への遊具等の設置**



複合遊具 奈義総合運動公園

**答 太田市長**

新たな北町公園の遊具について、複合遊具、健康遊具、プレパークを設置していただきたいがどのような考えか。子どもたちは山や土管や滑り台、水遊びや泥遊びも大好きである。東京都世田谷区にプレパークという遊び場がある。是非参考にして欲しい。ベンチがあつて語らいの場があつても良いと考える。そんな北町公園になつて欲しい。

議員が言う考え方、思っている事と一緒に。そういう公園を目指していく。

岩本 壯八

問



## 火葬場運営方針の見直しを

市内では昨年度797人の方がなくなっている。5年間平均で80人。今後増えることが予想される。

ご遺族は、悲しみに浸る間もなくご遺体の搬送や葬儀式場の手配と打合せ、ご親族への連絡、地域との打合せなど、大変な心労を伴う。死亡から火葬までの平均日数は4日になっているが、多い時期には1週間、10日待ちも。火葬場は空いていても、葬儀場の混み具合で期間が



真庭火葬場 三阪

長くなっている。長期間の見守りは遺族にとつて大変な苦労だ。遠方や仕事を休んでのお勤めはなおさらだ。葬儀を終えてからも、相続をはじめ様々な手続きに相当日数を要する。

家族葬が増えつつあると実感しているが、火葬場において通夜・葬儀ができるよう、火葬場の運営方針を見直すべきではないか。

## 答 太田市長

都市部に比べ割と早い時期に葬儀・火葬ができています。通夜はできないが、実質的な簡素な葬儀はそこで行い、使っていたらいい。

問

## 学校図書室の充実を

読書は学習能力に大きく影響するとされ、子どもの頃の読書量が多い人は、意識・非認知能力や認知機能が高い傾向があるようだ。全国学力・学習状況調査によると小・中学校ともに家庭の蔵書数が多い児童・生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。国は学校図書館の利活用

は大変有効だとし、図書の充実を含めて環境整備を計画的に行い学習活動における学校図書館の積極的活用を求めている。学校図書室には日焼け等でタイトルさえ読むに耐え難い古い本や、情報更新されていない本が多く残っている。市内の学校図書室の現状はどうか。

## 答 三ツ教育長

全校に学校司書を配置し、運用や蔵書管理を行っている。図書廃棄基準に沿って廃棄と更新を行っている。

大月 説子

問



## 多世代が集う場づくり

真庭市の人口は益々減少していくことが予想され、年齢別の縦割りの集いの場づくりではなく、障がいの有無に関わらず、多世代が緩やかにつながる場所づくりを政策的な課題として進める必要があると考え、①市長の見解。②地域への支援や集いの場の高熱水道費の扱い。③さ



富山型の共生デイサービス施設「このゆびとーまれ」 富山市

さえあいデイサービスの活用を提案。④久世エリアの公共施設の最適化方針に多世代共生施設の導入を。以上4点について見解を伺う。

## 答 太田市長

①指摘の通りである。行政が音頭を取るべきではないが、機運を醸成していくことが私たちの仕事。④箱物という頭だけではなく、交流が成り立つような雰囲気があるのが問題意識をもって考えていく。

## 答 木村総合政策部長

②行政からの支援は、地域づくり補助金、真庭を元気にする活動応援補助金、今年度からNPO活動資金の支援を実施している。地域で行う場合の水道光熱費は、現状を把握して対処を検討する。

## 答 樋口健康福祉部長

③受け皿としてやっていくことになれば行政支援を議論していきたい。

問

## 真庭市人材育成基本方針を策定する

現在の基本方針は、平成19年4月に作成しているが、その後組織機構の見直し等、組織体制が変化している。基本方針の見直しを、いつまでに、誰が、どのようにして行うのか見解を伺う。

## 答 金谷総務部長

昨年度、職員にアンケートを取った。関係職員へのヒアリング等も行っている。職員の意見を参考に、早稲田大学マニフェスト研究所の意見も聞き今年度中に策定したい。





支援が遅れている能登半島地震 輪島市

黒川 愛

問



助け合える支援体制を

災害時、行政が担うべき仕事は多い。能登で復興が遅れ、必要な支援が届いていないことは大問題。小さな自治体は平時より人材不足で、必要な支援を自治体単独で届けることは困難。真庭市など、人口減少と少子高齢化が進む自治体は、力を合わせ支援体制の連携と構築を図り、何かあったときに助け合える支援体制を国や県にも求めて欲しい。

防災教育は学校内の学びだけでなく、社会教育の活性

化にもつながる。真庭市の取り組み状況と課題は。

答 太田市長

自主防災組織の力量を上げ、真庭市そのものも備えをしていくことが一番大事。何を自治体としてはすべきかと、冷静に考えて行動すべき。ボランティアとして市民に呼びかけるなら、支援する。

答 三ツ教育長

地域学校協働活動などで、地域の顔の見える関係づくりが、防災を考える上で本当に大事だろうと取り組んでいる。

問

県立高校再編市の取組みと今後は

地元住民の思いや考え、子どもが教育を受ける権利などの意見交換を行い、県に届けていく必要がある。真庭市が力を入れている小規模校は多くの方々の協力で、子どもたちの学びに良いものとなっており、成果を上げていると実感している。高校も小規模校の在り方を検討すべき。

答 太田市長

真庭から高校をなくすことをしたくない。いろんな場で意見交換させていただきたい。

答 三ツ教育長

真庭高校が直ちに募集停止になるということではない。生徒の多様な進路の選択の道を尊重し、県に対して小規模学校の可能性や大切さを訴えていく。高校生が、この高校、この地で学べてよかったと思うよう、精いっぱいサポートしていきたい。

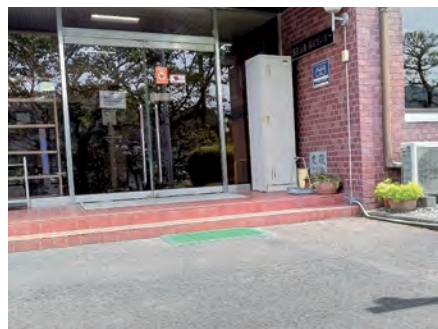
森田 敏久

問



ひきこもり支援

ひきこもりは生産年齢人口から推測すると真庭市では413人となる。支援を問題解決型から寄り添い型に展開し、全市的に取り組むべきと考えるが、関係部内においてどのような取り組みが行われているか。ひきこもり支援プロジェクトはどのような活動がされているのか。実態調査



落合人権・福祉センター 下方

によると、改善したかの問いに居場所が見つかったが一番多くなっている。真庭市の現状はどうか。本人や家族の現状をどれだけ把握し、どのような支援が求められ、今後の支援はどうすべきか。

答 太田市長

何型と割り切れる問題ではない。専門的支援機関と連携し、継続的な寄り添った支援を行っている。関係部内の取り組みは、落合人権・福祉センターでのひきこもり相談、居場所づくりもそこで行っている。

ひきこもり支援プロジェクトの活動について、落合人権・福祉センターで相談から問題解決や課題を支援者と連携し、行っている。居場所確保

は、サロン開催等やっている。現状把握は非常にデリケートな問題で継続的支援を行い社会参加に繋げていく。

問

介護保険料の引き下げと高齢者支援

介護サービスの利用が見込まれる中、引き下げたのはどうしてか。今後高齢者が健康に過ごすための支援について伺う。

答 太田市長

高齢者人口の8%以上が集いの場に参加し、介護予防に取り組み介護認定率が低減している。集いの場を98団体から120を目標に介護予防に取り組んでいく。

問

児童下校時の水分塩分補給

塩分補給ができるようにする考えはないか。

答 三ツ教育長

自分で管理し自己管理する力を育成する。



A中学校T部 北房中学校提供



伊藤 義則

## 部活動の地域移行について

今年のA中学校の全校生徒は89人で、運動部5部、文化部1部です。50数年前の統合時には、全校生徒が約500人いたそう。当時の部活動数は運動部12部、文化部6部の18部あったようだ。先生に伺うと「学校での部活動は限界にきている」確かに

生徒数が減り、教師の数が減り、学校のあり方が変わってきている。私「文化部の選択肢は減っていますが、周りを見ると選択肢は増えていきますよね、例えば50年前に比べて市民講座、公民館活動、老人大学、文化活動が活発ですよね」先生「選択肢は多くなっているが、はたして生徒たちの選択肢に入っているのでしょうか」。

中学校の部活動は令和8年度から平日のみを目指すとなった。当初から課題は人材、財源、施設、部活動指導員の管理、情報共有と言われている。どう考えているのか。

## 答 太田市長

学校の体育、スポーツから地域スポーツに移行しようとしている。教育委員会と連携し、検討会議を立ち上げ試行錯誤をしている段階。

## 答 三ツ教育長

部活動指導員は、県の部活動指導員配置事業を活用している。現在運動部が7名、文化部が3名で、令和8年度の財源と必要人数の見込み

は立っていない。施設、部活動指導員の管理は、今は学校部活動に配置されているので校長の監督を受けて給与支払は学校教育課で行っている。情報共有については、教職員に対しては昨年度末までに各中学校の職員会議で伝えている。保護者へはPTA総会で1回目の説明を行った。今後生徒や地域に説明しながら丁寧に進めていく。この事業は地域と連携し、生徒にとって望ましい活動環境の構築及び教員の働き方改革の実現を目的にしている。



傍聴席 モデルは議会事務局職員

# 議会を傍聴に行こう

## MITをぜひ視聴ください

真庭市議会定例会は真庭いきいきテレビ「MIT」のサブチャンネル（122）で生中継しています。

一般質問や各常任委員会付託案件審査は、録画して後日放送しています。

また、G K A I H E A D L I N Eは、真庭いきいきテレビYouTubeチャンネルで定例会閉会2週間後から2週間視聴できます。MITのニュースもご覧ください。



議場カメラ(左)とテレビ画面

真庭市議会の本会議・常任委員会を間近で傍聴してみませんか。議会広報の紙面では、お伝えできていない議員の生の活動が伝わってきます。

傍聴を希望される方は、議会開催中に市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記

入いただければ、簡単に傍聴席へお入りいただけます。

傍聴席は、30席用意しています。

本会議の様子は、真庭いきいきテレビで生中継されています。議員の発言の際、傍聴席が生中継に映り込む場合がありますが、ご了承ください。

## 傍聴席は市民席



7月3日

# 政策討論会

7月3日、政策討論会がありました。ここで発表した内容を加藤総務委員長と柴田産業建設委員長に290字で書いて頂きました。7月29日再度討論会を行い23人全員の賛同を得たら、全員協議会で文章確認をし、小田議長から太田市長へ政策提言書を

提出する運びとなります。提出した場合は次号でお知らせします。  
文教厚生委員会は政策提言案の提出を見送りました。いじめの状況を中学校長会と懇談、羽島市と掛川市を視察し真庭市と比較しましたが、いじめ防止条例制定まで至りませんでし

## 総務

### 移住者への支援強化に向けて

人口減少や空き家の増加という課題を調査研究するため先進地の竹田

市を視察しました。そして生の声を聞くため移住者と移住支援ボランティアの方も同席してもらい意見交換を行い、移住希望者に真庭を選んでもらう政策を4項目提言しました。

テーマは、移住者への支援強化にむけてで、移住者が1番に決める住宅については、お試し住宅の活用や定住促進住宅の建設、また子育て世帯の住宅支援、市による空き家バンクの管理を提案する。住宅とセットで決めた仕事への支援、何でも相談できるワンストップ窓口の設置、移住者と地域を結ぶ「移住案内人」の設置など、委員全員が意見を出し合い、まとめることが出来ました。

総務常任委員会 副委員長 西田文子



中和おためし住宅 蒜山下和

## 総務

### 産建

文教なし

た。次に市役所の相談窓口の在り方を何度も調査研究しましたが、全員一致とはならず採決の結果、今回は案を提出しないと決定しました。申し訳ない結果で

すが、勉強を重ねた事には価値を感じております。いじめ問題も相談窓口も大切なテーマですので、次の文教委員に託します。

広報・文教委員 氏平篤正



ドローンを使ったスマート農業 鹿田

## 産建

### 真庭の農業の存続と振興に向けて

真庭市においても農業生産者の高齢化や担い手不足は深刻の度を増しており、さらに農地等の荒廃も強く懸念されています。そのような状況の中で真庭の農業ポテンシャルを最大限活用した農業の存続と振興をはかるには農業者に対する手厚いサポート、農業の生産性を向上させること、そして農業が魅力あると感ぜられ選ばれる職業としていくことが必要であると考えます。他の地域に先駆けたモデル地域となる為には農業運営の総合サポート機能を持った組織体制及び実効性のある仕組みの構築推進が必要であると考え、この度の政策提言としています。

産業建設常任委員会 委員長 柴田正志



政策討論会

# 議会活性化特別委員会の中間報告

## 改革・改善の意識を持って

議会活性化推進特別委員会 委員長 妹尾智之

昨年議会活性化特別委員会を設置し、この一年間における調査・研究を三部会より中間報告を行い、議会改革に関する検討や様々な取組が進められるようになりました。議会改革は私たち議員にとって永遠の課題であり、これを不断に取り組んでいくことは議員の使命であると考えています。真庭市議会がしっかりとその役割を果たしていくために、中間報告を基に、改革・改善の意識を持って、日々精進してまいります。



## ICTで議会を、身近に感じる

議会活性化推進ICT部会 部長 黒川愛

6月定例会から、試験的に一般質問の録画配信が始まりました。ホームページには議会用語集を掲載し、議会Facebookも頻繁に更新しています。どうぞご覧ください。また、来年度には、市民や学生の皆さんとの意見交換でもICTを活用できるよう、勉強や協議を重ねています。市民の皆さんに、議会を身近に感じてもらうよう、部会メンバー6人でICT・オンライン活用に取り組んでまいります。ご意見等お聞かせください。



## 議会活性化策の推進9項目

議会活性化推進検証部会 部長 森脇正和

議会活性化策の推進に関して9項目について検証を行いました。政策形成サイクルが2年毎となり、単年では評価シートの細目と整合性がとりにくい項目があり、議会政策アドバイザーや他議会との交流など必要性を確認しなおすべき検証内容もありました。

議会基本条例アンケートでは、過去5年間で最も低い評価点となり、アンケートの評価は、真摯に受け止め更なる議会改革へつなげることが議会活性化の本質と考えます。



## より見える議会となるために

議会活性化推進立案部会 部長 庄司史郎

議会活性化推進立案部会では、政策立案、市民参画、情報発信の三つの柱を基に14の施策を掲げ、議会を市民の皆様から見て、より見える議会となるよう審議をしてくれています。政策立案に向けた環境整備や各種団体との意見交換、市民と語る会の在り方、議会ホームページ、SNS、真庭いきいきテレビ、議会広報紙等の広報媒体を活用した情報発信などについて中間報告をまとめ、6月3日議会活性化推進特別委員会（議長を除く22名の議員で構成）に報告しました。



# 真庭市議会講演会開催

日時 令和6年10月12日(土)午後1時30分開演

場所 勝山文化センター ポンテホール

講師名 河合 敦氏(歴史作家 多摩大学客員教授 早稲田大学非常勤講師)

入場  
無料





GIKAI NO UGOKI

# 議会の動き

5月 6月編

## 総務常任委員会が 北房・中和・美甘の3か所で 移住者と意見交換会

総務常任委員会が移住者との意見交換会を3～4名の小班で、3班に分け、5月13日(月)から5月24日(金)の期間で3回開催しました。北房では伴走支援組織等の役割分担が必要、中和では空き家調査が重要です。美甘では移住で大きな問題は仕事がないこと等の意見が出ました。



移住者との意見交換会 北房振興局

## 文教厚生常任委員会が 星のこども園を現地視察



園児の給食ルーム(はらぺこキッチン)で説明を受ける 久世

5月31日に文教厚生常任委員会が民間認定こども園星のこども園の現地調査を行い、職員との意見交換を行いました。園運営や各クラスの園児たちの様子、給食ルーム等の施設を視察しました。保育理念及び保育方針、非認知能力の育成、専門家との連携及び専門資格制度、ICTの導入について等委員から事前質問を出していた内容について園長から丁寧な回答がありました。ICTの活用など職員が一丸となって取り組んでいる事がよく分かりました。園児たちの明るく元気に楽しそうな様子も印象的でした。

## 産業建設常任委員会が 指定管理施設25か所視察



ふるさとふれあい特産館で説明を受ける 蒜山下長田

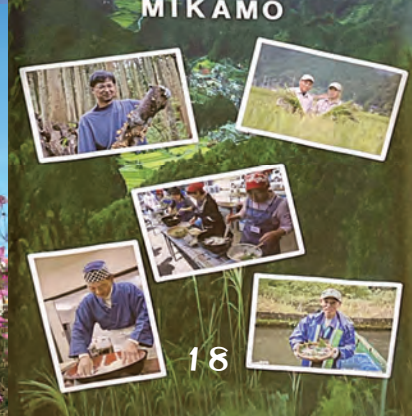
6月20日産業建設委員7名で中和、八束、川上、美甘地区の産業建設委員会所管の指定管理施設10か所を視察しました。昨年5月の7か所、今年1月の8か所に続き3回目の視察で所管全25か所の視察を終了しました。道の駅蒜山蒜山高原ではこの夏オープン予定のジャージー牛乳で練ったパン等ばん食べ放題のお店の説明を受け、クリエイティブ谷では金土曜日限定ですがリゾートセンターハウス内にカフェが新設された等説明を受けました。



# 住み続ける 移住して来る 真庭づくり 市長諸報告から



- ①ひまわり②市役所③醍醐桜④河川敷  
⑤タペストリー⑥法被⑦砂湯⑧特産品  
⑨コスモス⑩町並み



MIKAMO



MANIWA

SHIMIN  
NO  
HIROBA

# 市民の 広場

ここは市民みんなでつくるページです

8/ 8  
はんざき祭り  
8/14  
久世リバーサイド  
フェスティバル  
8/15  
ひるぜん花火大会  
8/24  
ひるぜん夏恋まつり



声

● 姫新線は大切な路線です。存続できますように、願っております。 宮本裕子

● 狢師をしています。有害駆除でカワウを駆除して、漁協で駆除代を支払ってもらいますが、予算が少なく、すぐ終了となります。カワウが増えています、落合は市の駆除代が1,000円ですが、増額を希望します。 柴田 誠



◀ 下蒜山登山道 雲居平は気持ちいい



初夏の蒜山三座 醤油屋の弟子

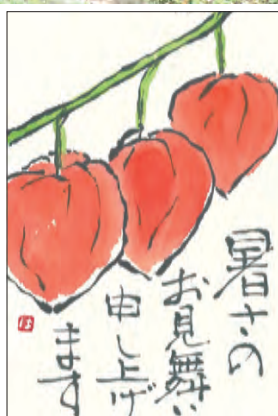
▶ 散策してみても カタクリ



▶ ういぼつ タロウ



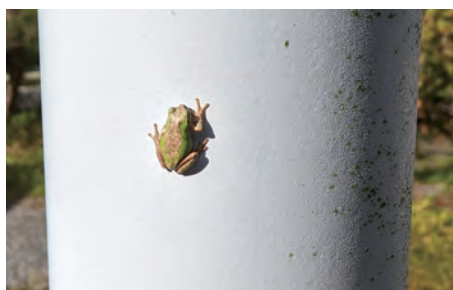
みごとに咲きました T.S.



暑中見舞 高木はるこ



▶ 鼓橋 彩彩



電柱に雨蛙と D.K.



## 募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。  
応募先▶ 真庭市議会  
宛先:20 ページの帯欄に記載しています。

◀ 金魚とゆず あづ



HPをご覧ください



真庭市議会HP



真庭市議会FB

12月定例会の請願と陳情の受付は10月31日(木)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いいたします。土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

## 12月定例会の請願・陳情は 10月31日(木)まで

ちょっと一枚

第30回真庭退職・現職教職員総合作品展より

ヤマセミ 樽本真久



問題 真庭の中学生が市内  
高校へ進学する率

〇〇%



切.. 8月30日(金) 消印有効。  
前号の応募総数は48通で、正解者は48人でした。ご応募ありがとうございました。



**正** 解者の中から8人に「ゆばらのかすてら」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会まで  
お送り  
くださ  
い。  
当選者  
の発表  
は商品  
の発送  
をもって代えさせていただきます。締

## 9月定例会は 9月3日(火)から9月26日(木)

9月3日(火) 本会議(開会・議案上程・提案説明)  
6日(金) 本会議(一般質問)  
9日(月) 本会議(一般質問)  
10日(火) 本会議(一般質問・議案質疑)  
11日(水) 12日(木) 13日(金) 常任委員会  
18日(水) 19日(木) 決算審査特別委員会  
20日(金) 予算審査特別委員会  
26日(木) 本会議(委員長報告・採決・閉会)  
■ 会議は通常午前9時30分に開会します。  
■ 正式には8月26日(月)の議会運営委員会  
決定します

■ 証明写真を使った詐欺事件が全国で続き、真庭市議会も斜め顔写真に変更しました。下6人は遊んでいますが、ホームページの議員23人は正装の真面目顔ですをご覧ください。皆さんも詐欺には注意しましょう。



氏平篤正 ○森脇正和 ○浅野和昭



森田敏久 西田文子 加藤大悟

議会広報特別委員会

### A市の話、議事録に無い

▼隣県A市の話。議会の議事録に無い虚偽の記載があるなどと、市長が議会だより発行費を当初予算に計上しなかった。しかし議会側が発行費199万円の増額修正案を提案して可決。市長が予算提出権限の侵害だと再議を求めたが、議会は再び否決した。市長は県知事に発案権の侵害だと審査を申し立てた。どうなる...。▼真庭市は、質問議員に議事録を渡し67行以内にまとめもらう、議事録に市長答弁は青、教育長部長は緑、議員発言は黄の蛍光ペンを塗り提出。6人の広報委員が半日かけてチェックする。▼1ページに2人掲載と決めており、行数を減らすと写真が大きくなるデザイン。写真は1人1点で加工不可。見出しは16字以内、ついて...は使わない、である体で等々。試行錯誤を繰り返し決まり事がある。▼カラーにしたとき「議会広報紙まにわ」と名称を変更。日本広報協会W常務に3年指導を受け今の形を完成させた。主な議案、予算、Q&A、議会の動き、市民の広場、クイズ、おもしろ話がある。レイアウト用紙は縦4段、縦5段、横22字の3種類、色指定もあり。▼広報は信頼関係いい関係を築くという意味で、そう心掛けて編集している。ページ制限もあり「市長答弁を追跡」「私服の議員」、出来ない企画がある。(氏平)

### M市の話

議会まにわ

議会改革は更なるステージへ